

bouquet

ブーケ



一人ひとりの行動が
地域をつくり、社会をつくる

—— 社会貢献への取り組み



contents

特集 インタビュー 医療を通して社会に貢献

おおたわ史絵さん（内科医・作家）…………… 2p

私たちの活動…………… 4p

社会貢献に取り組む個人・団体をサポート …… 4p

第2回中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業を認定しました…………… 5p

第10回ブーケ祭り「未来へ向けて、さらなる飛躍へ！」開催のお知らせ …… 6p

Bouquet Information 講座・イベントのお知らせ

女性センター「ブーケ21」案内…………… 7～8p

特集号
2011.6

医療を通して社会に貢献

おおたわ史絵さん（内科医・作家）に聞く

3月11日の東日本大震災から3カ月がたちました。震災の被害は極めて大きく、被災地の復興が課題となっている今こそ性別や年齢にかかわらず、ともに手を携えて活力ある日本を取り戻さなければなりません。

インタビューでは、医療を通して社会貢献活動を行っているおおたわ史絵さんに、社会貢献への考えや活動内容についてお話を伺いました。



おおたわ史絵さん（おおたわふみえ／内科医・作家）
東京の下町出身。大学病院、救急医療の現場を経て下町の医師の道を選ぶ。現在も日常の診療のほかに聾唖者医療やボランティア山岳医療にも携わる。ラジオ、テレビ、雑誌など各メディアでも活躍中。

▶山岳ボランティア診療（燕岳にて）



目の前にいる患者さんに尽くす

医師としてのプロフィールをお聞かせください。

私が医者になった平成元年はまだ女性の医師が少なく、教授からは「女医はいらない」と言われ、患者さんからは「なんだ女医か」と言われる時代でした。出産や子育てなどで女性はマンパワーとして期待できないということだと思いましたが、実際には、当直回数や受け持つ患者の数など、仕事内容で男女に差があったわけではありません。

開業医になってから、国境なき医師団に行きたいと思っていました。最終的に諦めたわけですが、そのときに思ったことは、見ず知らずの遠い国の子どもを助けることも、目の前の近所のお年よりを助けることも医療的な価値には変わりがないということです。自分に与えられている仕事がいま目の前にいる患者さんならば、それに

一生懸命取り組むことが自分のやるべきことだと考えるようになりました。

女性の医師ならではの役割はありますか？

男性の先生のほうが話しやすいこともあれば女性の先生のほうが話しやすいこともあるでしょう。患者さんが話しやすいほうを選べるように男女双方いることが必要だと思います。

障害者医療、山岳ボランティア診療に取り組む

障害者医療についてお聞かせください。

東京都には幼稚園から高校卒業後の専攻科まであるろう学校がいくつかあるのですが、その校医を9年ほどやっています。春の健診や修学旅行前健診など行事前の健診事業です。

父がやっていたのですがやめるときに、その仕事は自分の仕事だと思って都や校長の許可をとって引き継ぎました。理屈ではなくやりたいと思いました。父について行ったこともなくまったく知らない学校でしたが、私がそれをやらないでどうする、というぐらいの強い思いがありました。

強い思いの源は何でしょうか？

医者になる前からのような

気がします。小学校高学年のとき、駅のホームに白い杖についている人がいて明らかに危ないと思われるのに、周りの人は見ているだけ何も言わないんですね。それを見て走っていった「危ないよ」と手を引いた覚えがあります。そのときの「ありがとう」という純粹な笑顔が心に残っており、医者になっても残したいと思っていました。

山岳ボランティア診療とはどういうことでしょうか？

2500メートル級以上の山小屋には診療所が併設され夏の間だけ開いているのですが、夏休みを使って行っています。若い

ころは、下界での診療もありますし、貴重な夏休みを使って行くことにためらいもありましたが、6年前から行くようになりました。

山小屋の診療所では、体力的なこともあるのかもしれませんが、女医さんに一度も会ったことがないですね。

社会貢献について男性と女性では取り組みたい内容に違いがありますが（図表、どうお考えでしょうか）。

男性も女性も互いのよいところを出し合って社会をつくっていくことがよいと思います。もし男の人、女の人、それぞれにしかできないことがあるのならそれぞれがすればいい。けれども、どちらがしてもいいことはどちらも

被災者に老眼鏡を届ける

震災支援で老眼鏡を届けたそうですね。

震災支援については、すぐにも被災地に入れるように自分でチームを作って日本医師会に登録していました。

老眼鏡は、医師仲間と連絡しあい、度数検査と高圧洗浄をして相当数送りました。けれども現地では、支援物資がたくさん送られてくるため必要な人の手元にすぐ届くわけではありません。そこで私は自分が集めた老眼鏡は確実に渡そうと思って、東京にある避難

事業協力スタッフレポート

インタビューに同席して

おおたわさんの「社会貢献は自分の目の前の困っている人を助けることから」というお話を聞いて、「社会のために自分も何かしなければ」と焦っていた私は、すーっと気が楽になりました。人を思いやり、お隣さん、友人、家族に手を差し伸べるという、誰もが日常何気なくやっていることが、ボランティア精神の基本なのですね。

事業協力スタッフ 脇坂文栄

所に電話をして必要な人の人数を聞いて自分で届けに行きました。

一人ひとりの小さな行動が社会をつくる

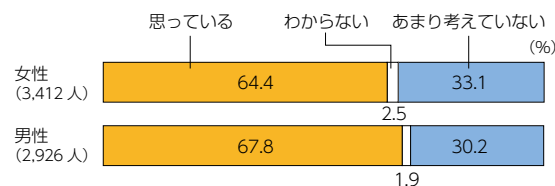
社会貢献に取り組もうとしている人たちにメッセージをお願いします。

震災支援でもそうですが、自分ひとりでできることは小さなことかもしれませんが、確実にしていくことがとても重要だということです。

そして、社会貢献をする、被災地に行って支援活動をするということは、街でお年よりの荷物をもつてあげる、電車で席を譲るということと同じことなのです。誰かのために「やってあげる」とか、「やらなければならない」ではなく、当たり前のようにできることが大切だと思います。

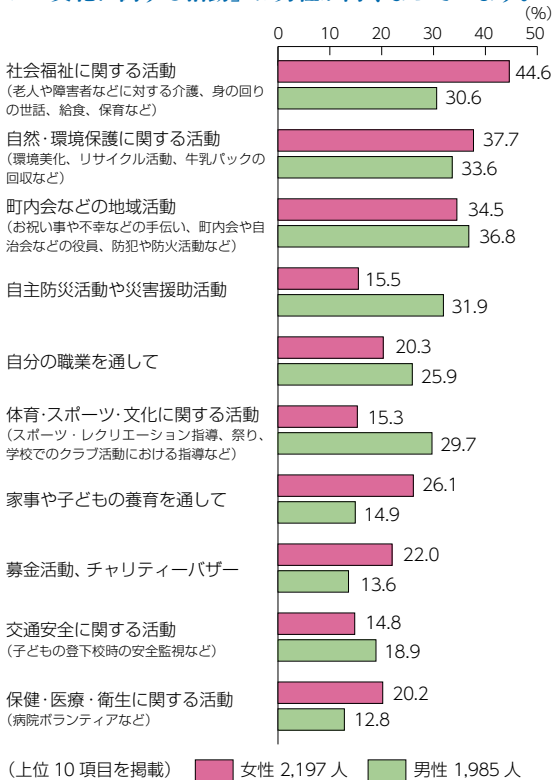
社会への貢献意識

女性も男性も6割以上の人が社会のために何か役立ちたいと思っています。



社会への貢献内容（複数回答）

社会のために役立ちたいと思っている内容は、女性は「社会福祉に関する活動」、男性は「町内会などの地域活動」が1位です。また、「家事や子どもの養育を通して」、「募金活動、チャリティーバザー」は女性が高く、「自主防災活動や災害援助活動」、「体育・スポーツ・文化に関する活動」は男性が高くなっています。



(上位10項目を掲載) 女性 2,197人 男性 1,985人

資料：内閣府「社会意識に関する世論調査」(平成23年1月)

私たちの活動

区内在住・在勤の皆さんの活動をご紹介します



わたなべ ひろし 渡部 広さん 40代 会社役員 佃在住

被災地の方々に物資を運んでいます

私は大震災の直後、佃地区で始まったボランティアグループ「佃 loves 東北」で被災地の方々に物資を運んでお渡しています。最初はクリスチャンの方が始めた善意の行動が、あっという間に、地域の輪に広がりました。心がけることは、関わってくれた全ての人々の気持ちを運ぶことですね。



しのはら かおる 篠原 薫さん 30代 会社員 日本橋在住

環境をテーマに子どもたちの成長を応援しています

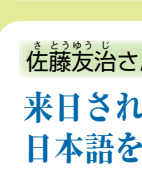
“サーモンプロジェクト”は私が所属する中央区環境保全ネットワークが「子どもとためす環境まつり」で企画している活動です。成長した鮭が故郷の川へ戻るように子どもたちがさまざまな経験を通して成長し、また中央区に戻り活躍してほしい、そんな願いが込められています。身近な住環境から生活を見つめ直し、広い視野を持った子どもたちの活躍を夢みて活動しています。



いしだ かずこ 石田和子さん 80代 無職 佃在住

使用済切手の整理・分類と、作品づくりをしています

退職後、地域でボランティアをしたいと思っていたときに社協の紹介で知り、約20年続けています。使用済切手の整理や、それを使って作品を作っています。自分の好きな切手に関わる活動だから続けてこれたと思います。今後も切手をいただける限り、この活動を続けていきたいです。



さとう ゆずし 佐藤友治さん 50代 会社員 新富在勤

来日されている外国人の方に日本語を教えています

昔ドイツで4年ほど生活したことがあり現地語が話せたら楽しいだろうと思いました。昨年中央区の掲示板で日本語指導者養成講座の案内を偶然発見して講習を受け、現在月に3回土曜日に中国・韓国・モンゴルなどの方に日本語を教えています。学習者が楽しく参加し、学べることを目標にしています。

第2回 中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業を認定しました

区では、仕事と家庭の両立支援や男女ともに働きやすい職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる中小企業等を認定する「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定」制度を設けています。平成22年度は3社を認定し、4月7日に認定式を行いました。



伊藤忠紙パルプ株式会社

卸売業

中央区日本橋本町2-7-1
NOF日本橋本町ビル



男性社員2名が育児休業を取得

2005年からワーク・ライフ・バランスに取り組みはじめ、人事総務部内にワーク・ライフ・バランス推進員を配置しています。最初に「仕事と子育て・介護の両立支援」を整備しました。子どもが小学校に入学するまで1時間

半／日利用できる育児短時間勤務や、186日まで2時間／日利用できる介護短時間勤務、育児支援一時金や5日間の育児休業有給制度、育児・旅行補助金の支給など、いずれも法定以上の制度を定めています。経営陣の働きかけもあり、男性の育児休業取得者2名をはじめ、利用者が増えています。昨年からは、長時間労働の改善に取り組んでいます。区のワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣制度を利用して対策を検討、昨年度からは毎週水曜日の早帰りデー等を実施し、2010年度は前年比14%削減しました。

経営方針や業務計画にワーク・ライフ・バランスの推進を明示して全社的に取り組んでいます。公休（有給休暇）は3年間有効で、年間最大60日まで取得できますが、多くの社員が利用できるように担当業務の互換性を図ったり、部内で休暇を調整するなどしています。残業時間の削減においても、業務の見直しやシステム化、アウトソーシングなどにより業務量を減らした上で、週1日のノー残業デーの実施、原則18時までの勤務などを行っています。こうした取り組みにより、残業は3年間で3分の1に減り、有給休暇も2010年度は取得率70%を目指すにいたっています。地域貢献活動においても、社会貢献活動事務局を設置し、全社員がボランティア保険に加入して積極的に活動しています。

業務計画に組み込み、着実に推進

第一生命カードサービス株式会社

金融業

中央区京橋2-5-18
京橋創生館



株式会社ツナグ・ソリューションズ

その他サービス業
(採用コンサルティング業)

中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル



▲カンボジアでボランティア休暇 LOVE 休暇

ユニークな特別休暇を設置

「質の高いインプットが『仕事力』『人間力』を育む」という理念のもと、インプットの機会としてユニークな特別休暇を設置しています。例えば、LOVE 休暇は年1回大切な人の誕生日に取得。プレゼント代上限1万円を支給し家族や友人へなかなか伝えられることのできない感謝の気持ちが自然に伝わり、応援が得られるという大きな成果を生んでいます。勉強休暇は年1回、自己啓発を目的に最高連続5日間取得。勉強費として上限10万円支給。カルチャー&エンタメ半休は年2回、文化・教養に触れるために取得。いずれも従業員が自ら休暇を作り出した事により、愛着を持ち取得しています。取得後は社内ブログ報告が義務づけられ、コミュニケーションの活性化や休暇取得促進の役割を果たしています。

社会貢献に取り組む個人・団体をサポート

区内には、区民や企業の社会貢献活動を支援するさまざまな団体があります。その中から2つの団体を紹介します。

ちゅうおうボラネット（中央区登録ボランティア連絡協議会）

ボランティアに取り組む個人、団体の皆様のご参加をお待ちしています！

- 中央区の登録ボランティアの相互交流を図り、互いに協力して連絡を密にし、さらに情報の収集と発信をすることによって、地域福祉の充実・発展を図るため、平成20年に発足しました。
- ブログでは、個人や団体のボランティア活動の募集や予告を掲載しています。多くの方のご参加をお待ちしています。
<http://boranet.blog54.fc2.com/>

●主な活動内容

- ◆ボランティアに関する講座の企画・開催
- ◆中央区健康福祉まつりへの協力
- ◆中央区ボランティア・区民活動センター事業等への協力

●メンバー

登録個人ボランティア185名、登録ボランティア50団体（団体所属人数1,414名）（平成23年3月末現在）

社会貢献に取り組む企業のご参加をお待ちしています！

中央ぶらねっと（中央区社会貢献企業連絡会）

- 主な活動内容 隔月に行なう定例会のほか緑化活動や福祉活動など5つのワーキンググループに分かれて活動を行なっています。
- 加盟企業：(株)アイ・ティ・フロンティア、アサヒビール(株)、(株)アルピオン、花王(株)、(株)コスモテック、住商情報システム(株)、住友化学(株)、住友商事(株)、住友生命保険相互会社、(株)電通テック、長瀬産業(株)、(株)ハッピー・パスポート、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)、ペーリンガーインゲルハイムジャパン(株)、みずほ信託銀行(株)、三井住友海上火災保険(株)（16社、50音順）

- 「地域とともに歩む」ことをコンセプトに、「中央区」を社会貢献活動のフィールドとしてとらえる区内に拠点を置く有志企業と中央区社会福祉協議会ボランティア・区民活動センターで構成、平成6年に発足しました。現在は企業の情報交換などにとどまらず、ワーキンググループ活動など、参加企業が主体性を持って地域貢献活動を企画・実施しています。



連絡先はともに
中央区ボランティア・区民活動センター
中央区八丁堀4-1-5
電話：3206-0560
E-Mail：
vc@shakyo-chuo-city.jp

◀「ウォークラリークリーンアップ作戦」の様子

募集

女性弁護士に聞く
「女性のための法律講座
結婚・離婚について」

自分を取り巻く法律について考えてみませんか？

- 日時 7月16日(土) 午前10時～正午
- 場所 女性センターブーケ21
- 講師 弁護士 窪木登志子
- 対象 女性
- 定員 30名(先着順)
- 費用 無料
- 託児 1歳以上の未就学児をお預かりします。7月8日(金)までにお申込ください。(定員あり)。
- 申込方法 電話またはファクスに①⑤(8頁記入例参照)、⑥託児希望の方はお子さんの氏名・ふりがな・年齢を記入して申込む(電子申請も可)

募集

サザランド市姉妹都市提携
20周年記念事業
「女性の海外研修」

- 今年、サザランド市(オーストラリア)と中央区の姉妹都市提携20周年です。その記念事業として、サザランド市を訪問し、市民レベルでの交流を図るとともに、オーストラリアの男女共同参画を学びます。
- 日程 11月14日(月) から20日(日) の7日間
- 訪問地 オーストラリア サザランド市、シドニー市
- 対象 平成23年4月1日現在、1年以上中央区に居住している18歳以上の女性。ただし、学生を除く。
- 定員 10名
- 費用 10万円及び渡航手続き等諸

お知らせ

6月23日～29日は
「男女共同参画週間」です
「チャンスをつかち、未来を拓こう」

◎応募方法等、詳しくはお問合せください。
経費を必要とします。

男女がお互いに人権を尊重し合っている、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するためには、行政のみならず区民の皆さん、民間団体、そして企業の理解と主体的な取り組みが必要です。
女性センターでは、この週間に合わせ、内閣府制作の「男女共同参画週間ポスター展」を開催します。みなさまのご来場をお待ちしております。

報告

育児中のママやパパたちのためのほっと息
「私の時間」

5月18日、東京消防庁京橋消防署職員橋本晴美さんをリーダーにお迎えし、地震に備えての考え方や対策についてお話していただきました。非常時の持ち出し品や子どもと離れていたときの行動など、子育て中でもある橋本さんのアドバイスはとても参考になりました。子どもたちも託児ボランティア(子育てリーダーCHUO)の方と楽しく過ごしました。次回は7月20日(水)です。



第10回 ブーケ祭り 「未来へ向けて、さらなる飛躍へ！」



「中央区ブーケ祭り」は、中央区における女性の活躍と男女共同参画の推進および区民団体の交流を目的に毎年開催しています。

10回目となる今年のテーマは「未来へ向けて、さらなる飛躍へ！」です。

落合恵子さんによる講演会のほか、女性センターを拠点に活躍する各団体が、日頃の活動成果を発表します。さまざまな展示、体験しながら楽しく学べるブース、実行委員会主催のワークショップや軽食コーナーなどもあります。おひとりでも、お友達やご家族連れでも、どなたにも楽しんでいただけるお祭りです。お気軽にご来場ください。

展示コーナー

1階	エガリテ 男女共同参画に関する学習と活動内容の展示	カトレアグループ アレンジフラワーの作品を展示いたします。簡単に早く生花の体験ができます
	銀座育成婦人会 活動紹介(パネル展示)、手芸指導(針刺し)、折りがみ(鶴)	かな書道を親しむ会 かな書道の作品展示、かな書はがき作成体験
	中央区消費者友の会 「健康食品のウソ、ほんと」を視野において「シニアの食事バランス」を(手軽に作れる料理で)提案します	傾聴ボランティアグループうさぎの会 傾聴ボランティアって何ですか？私たちの活動の方法と内容について
	中央区女性史勉強会 江刺先生ご指導により「祖母・母・娘の時代」を学びました。成果として、自立した女性の歴史を発表します	新日本婦人の会中央支部 女性の地位向上委員会 へたでいい、へたがいい、絵手紙展と絵手紙体験
3階	中央区女性ネットワーク 女性団体のネットワーク活動の展示	中央区環境保全ネットワーク カトー折り 牛乳パックやチラシから野外での飲み物や食べ物を入れる器を作ります
	中央区婦人学級連絡会 年間活動状況、婦人学級だより展示、折紙、楊枝入れづくり等	中央区つつじ会 精神障害者への理解を深め、共生できる社会へ、展示
	(社)東京建築士会 女性委員会 東京建築士会と女性委員会の活動を紹介・展示	日本橋モラロジー事務所 心の生涯学習の紹介とニューモラル誌の配布
	東京都下水道局桜橋第二ポンプ所 下水道施設PR、都市下水道のしくみ、下水道なんでも相談	人形教室みやび会 うさぎ、寿十二支、立体押絵、羽子板、蛤兜、人形等(全て手作り)
4階	中央区社会福祉協議会「ファミリーサポートセンター」 子育てを住民相互が支え合うファミリーサポートセンターの活動紹介	中央区女性海外研修者の会 4階ワークルームで軽食のサービスと20周年記念の展示をします
	中央区女性センター 女性センターの事業紹介	京橋防火女性の会(25日のみ) 防火防災に関する広報展示 応急救護訓練(AED取扱い)の展示、指導
	エコ・ビーイング 「学ぼう! 知ろう! 私たちの緑環境」——カーボンオフセットの仕組み——	中央区危機管理係 安全・安心おまかせ出前相談

ひと休みコーナー

カフェコーナー
コーヒー、クッキー

軽食コーナー
サンドイッチ、おにぎり、焼きそば、団子、飲み物、コーヒー、クッキー

中央区立女性センター「ブーケ21」

企画満載!

◆落合恵子さんによる講演会(申込みは締め切りました)
「HUG のとき……まずは自分を抱きしめることから」
日時: 6月24日(金) 午前10時～11時30分
作家であり子どもの本の専門店の経営や7年間にわたり母親の介護もされてきた落合恵子さんに、今をそしてこれからをどう生きるかについてお話いただきます。

◆「桜川屋上公園自然観察会」を行います!
(協力: エコ・ビーイング)

桜川屋上公園は、女性センター「ブーケ21」の建物の2階に造られた屋上緑化の公園です。屋上緑化の効用や保全について学びましょう! また、公園内の樹、植物、昆虫、それにハーブの効用についてご案内・説明いたします。

日時: 1回目 6月24日(金) 午後3時
2回目 6月25日(土) 午前11時
集合: 女性センターブーケ21 2階
桜川屋上公園(雨天決行)

◆パネルディスカッション
「ブーケ祭りの歴史がわかる! 未来が見える!」

ブーケ祭り10周年を記念して、参加団体によるパネルディスカッションを開催します。ブーケ祭りを振り返っての10年、そしてこれから未来に向かって……いろいろな思いを語っていただきます。

日時: 6月25日(土) 午後3時～4時

6月23日(木)から25日(土)はブーケ祭り(準備含む)のため、情報資料コーナーや研修室等の利用は休止します。



昨年のブーケ祭りより

パフォーマンスコーナー

24日開催	音和会 視覚障害者による三味線、ハーモニカ、盆踊り、視覚障害者と共に支えながら手助けして下さる会員の合唱	12:30～13:00
	朗読ボランティアグループわかはや会 朗読: 「おおきなけやき」「いっぽんみちをあるいていたら」 詩: 「海の地図」 他	13:30～14:00
	音楽の集い 混声合唱「青葉の歌」「木を植える」他	12:00～12:20
	わすね草 オペラ歌手 橘麗子先生のご指導のもと、楽しく一緒に歌いましょう	12:20～12:40
3階	レイ・ロケラニ フラダンス「カレオハノ」「カノホナビリカイ」「ロケラニプロッサム」「クウホア」	12:40～13:00
	アマービレ ヴォイストレーニング 独唱、イタリア歌曲、日本歌曲、デュエット	13:00～13:20
	エーデルワイスの会 コーラス「ワラビガミ」他	13:20～13:40
	朗読の会 「おこりじぞう」(山口勇子) 作 群読	13:40～14:00
25日開催	吟友会 武田節、富士山、海南行、他2吟	14:00～14:20
	かつぼれ踊る会 奴さん、深川、かつぼれ	14:20～14:40
	翠会 お茶会 薄茶一服…ほっとしませんか?	10:00～15:00

女性のからだや生活のコーナー

中2階	日本助産師会東京都支部中央区分会 (24日のみ) 助産師の心のこもったハンドマッサージ
	中央区保健係 子宮がん検診、乳がん検診を受けていますか?
2階外	オスビーの会 友好支援「ハケ岳 緑の風」の花・クッキーの販売、「便利こもの」作り体験
	中央区社会福祉協議会「さわやかワーク中央」 障害者の就労を支援する、さわやかワーク中央の自主製品販売

